

市町村長・管理職特別セミナー

7月24日、25日の2日間の日程で、令和7年度第2回「市町村長特別セミナー」及び「管理職特別セミナー」を開催し、全国各地から83人の市町村長、管理職等の皆様にご参加いただきました。

初日は、まず、「本の未来を語る」と題して、歴史小説・時代小説家の今村翔吾氏から、これからの書店や書籍の現状と課題や図書館の在り方などについて、本にかかわる者としての熱い思いをもってご講演いただきました。参加者からは、「全国の書店に対する熱い思いが強く伝わってきた講義だった」、「本を通じて、官との連携の可能性を先生ならではの視点で多面的に考えておられ、それを共有いただけたことがありがたかった」、「本と向き合う意味を深く問いかける貴重な時間となった」、「作家でありながら書店経営者として尽力されている講師の本業界の衰退を食い止めようとする活動を知り、自身の業務にも生かせ、また参考に出来る部分があった」などの感想をいただきました。

続いて、「文化による町おこし 成功と失敗の分かれ目」と題して、脚本・演出家／日本チャップリン協会会長の大野裕之氏から、町おこしに関する全国的具体例やご自身の経験談や、演出家から見た町おこしに必要なものとは何かなどについてご講演いただきました。参加者からは、「文化の持つ力と

地域活性化への可能性を改めて考えさせられる、非常に刺激的な内容だった」、「講師の熱い思いが伝わり、人口減少に悩む地方に元気をもらえる内容で良かった」、「映画を含め、文化、芸術、アートを通した町おこしによる成功の秘訣などを学んだ」、「文化による町おこしは時代の流行にとらわれ、安易にイベントとして取り組むのではなく、地域の特性や継続性をふまえて企画すべきものであり、費用対効果は長期的なスパンで評価すべきだと理解できた」などの感想をいただきました。

2日目は、「令和時代の働き方とリーダーシップのあり方」と題して、人事院人事官の伊藤かつら氏から、外資系民間企業での経験における人材育成のあり方や、これから求められるリーダーシップ論、さらにはすぐに取り組める人材育成のコツなどについてご講演いただきました。参加者からは、「大変素晴らしい講義であった。今日から実践できること、長期的ビジョンを学ばせていただいた」、「是非、管理職に聞かせたいと思った」、「自身の経験に基づく具体的な話は説得力があり、今後の実践に活かせる多くの気づきを得ることができた」、「今後の良い組織づくりのために、まず自分から変わろうと思った」などの感想をいただきました。

本の未来を語る

歴史小説・時代小説家
今村 翔吾氏



文化による町おこし 成功と失敗の分かれ目

脚本・演出家／
日本チャップリン協会会長
大野 裕之氏



令和時代の働き方と リーダーシップのあり方

人事院人事官
伊藤 かつら氏

